



集中ケア

看護部 三山 麻弓 6階 末永 司

COVID-19と闘う

救命センター/集中治療室の現状

ご家族と患者さんをつなぐ面会の工夫

現在、多くの施設で家族面会が制限されています。しかし、ICUだからこそ面会制限によるご家族・患者さんの不安はとて大きなものです。ご家族に写真や手紙を持ってきていただいたり、患者さんのリハビリに励む姿を写真に納めたり、集中治療室ではできる限り、ご家族と患者さんをつなげられる工夫をしています。



多職種と協働し「腹臥位療法」の実施

腹臥位（うつ伏せ）療法は、重度の肺障害に対して行う治療の一つです。当院でも昨年からの導入し、現在夕方17時～翌朝9時まで約16時間の腹臥位療法を実施しています。これには、マンパワーの確保・慣れたスタッフによる全身管理（呼吸循環/鎮静管理）・褥瘡予防等の知識が必要です。シミュレーションを重ね、患者さんが安全・安楽に腹臥位療法を受けられるよう、日々奮闘しています。



救命センター・集中治療室に
入院する患者さんの1日も早い回復を心から願います

